

CCNP SP

CCNP Service Provider 認定

Cisco Certified Networking Professional
Service Provider



CCNP Service Provider 認定とは

CCNP Service Provider (Cisco Certified Network Professional - Service Provider) 認定は、サービス プロバイダー技術に関して中級レベルの知識を持つことを証明する資格です。

サービス プロバイダー IP 次世代ネットワークの展開と最適化に関するスキルを認定します。

CCNP Service Provider 認定を取得するメリット

CCNP Service Provider 認定を取得すると、IP 次世代ネットワークにおけるサービス プロバイダー技術・製品・ソフトウェアの構成、実装、検証テスト、トラブルシューティング、最適化などのネットワーク エンジニアリング スキルがあることを証明できます。

CCNP Service Provider 認定に適した人材

サービス プロバイダー ネットワークに関して 3~5 年の実務経験を持つ、プロフェッショナルになるために必要な応用知識や能力を身につけたい、または次に挙げる職務に必要なスキルの習得を目指す方に推奨します。

- サービス プロバイダー ネットワーク エンジニア (IP またはコアバックボーン エンジニア、インフラストラクチャエンジニア、エッジまたはアグリゲーションエンジニア、アクセス エンジニア、実装エンジニア、フィールドエンジニア、テクニカルサポート担当者など)
- キャリアグレードネットワーク インフラストラクチャをサポートするエンタープライズネットワークエンジニア
- サービス プロバイダーに「営業」するパートナー販売担当者
- サービス プロバイダーをサポートするパートナーフィールド エンジニア
- サービス プロバイダー リセラー エンジニア

CCNP Service Provider 認定を持つネットワーク エンジニアの役割

技術チームリーダーやチームメンバーとして、スケーラブルなキャリア グレード インフラストラクチャを実現し、新しいマネージド サービスの継続的な導入やその他のカスタマーからの要求に対応します。

- 複雑な技術設計ドキュメントからネットワークおよびサービスの構築を実装する
- ネットワークの準備状況、ネットワークコンポーネントおよびソフトウェアの互換性、ネットワークエンジニアリング設計ドキュメント評価の最適化に関して、ネットワーク設計技術者に助言を提供する
- ネットワークに不可欠な実装および検証を監督、実行する
- 運用スタッフに高度な技術的サポートとコンサルティングサポートを提供する
- ネットワーク実装前に回帰テストを実行し、製品、ソフトウェア、機能の相互運用性を検証すると共に、仕様に照らしてパフォーマンスを検証する
- ハイ アベイラビリティ実装の検証において専門知識を提供する

CCNP SP

Cisco
Certified
Networking
Professional
Service Provider

CCNP Service Provider 認定プログラム概要

CCNP Service Provider 認定は、サービス プロバイダー環境で働くネットワークエンジニア、フィールドエンジニア、および運用エンジニアを認定することを目的とした、3 年間有効な認定プログラムです。

認定条件

次のいずれかの条件を満たす必要があります。

- 有効な CCNA Service Provider 認定を保有
- 有効な CCNA R&S 認定を保有し、CCIP 試験 (QOS、BGP、MPLS、BGP+MPLS、ROUTE) のうち 1 つ以上に合格
- 有効な CCIP 認定を保有
- いずれかの CCIE 認定を保有

取得要件

CCNP Service Provider 認定を取得するには、次の試験に合格する必要があります。

必須試験

推奨トレーニング

642-883 SPROUTE	Deploying Cisco Service Provider Network Routing (SPROUTE)
642-885 SPADVROUTE	Deploying Cisco Service Provider Advanced Network Routing (SPADVROUTE)
642-887 SPCORE	Implementing Cisco Service Provider Next-Generation Core Network Services (SPCORE)
642-889 SPEDGE	Implementing Cisco Service Provider Next-Generation Edge Network Services (SPEDGE)

再認定

CCNP Service Provider 認定の有効期間は 3 年間です。再認定を受けるには、認定の有効期限内に次のいずれかの条件を満たす必要があります。

- 現行の 642 - XXX プロフェッショナル レベル試験の 1 つに合格
- 現行の CCIE 筆記試験の 1 つに合格
- 現行の CCDE 筆記試験に合格
- 現行の CCDE 実技試験に合格
- アーキテクトインタビューおよびアーキテクト委員会審査に合格

上記の認定取得もしくは再認定で、自動的に取得済みアソシエイトとプロフェッショナルレベル認定の有効期限が、新たに取得した認定資格の有効期限まで延長されます。

CCNP SP

Cisco
Certified
Networking
Professional
Service Provider

出題内容

SPROUTE

シスコのキャリア グレード デバイスおよび Cisco IOS、Cisco IOS XE、Cisco IOS XR ソフトウェアを使って、ルーティング プロトコルの設定、検証、トラブルシューティングを行うために必要な知識が問われます。

- サービス プロバイダー環境における OSPFv2 および OSPFv3 のルーティング、IS-IS、IPv4、および IPv6、BGP ルーティング、ルート操作
 - Open Shortest Path First (OSPFv2 および OSPFv3) ルーティング (マルチエリア OSPFv2/v3、ネイバー認証、スタブ、Not-So Stubby-Area(NSSA)を含む)
- ハイ アベイラビリティ ルーティング機能 (双方向フォワーディング検出 (BFD)、ノンストップフォワーディング (NSF)、ノンストップ ルーティング (NSR)、OSPF および IS-IS のグレースフル リスタートを含む)

SPADVROUTE

サービス プロバイダー ネットワークの実装とサポートにおける、IPv4 および IPv6 の高度な BGP 設定、IP マルチキャスト、IPv6 への移行メカニズムの設定、検証、トラブルシューティングに関する知識が問われます。

- サービス プロバイダー IP NGN 環境における BGP ルーティング機能、マルチキャストルーティング、IPv6
 - マルチキャスト ルーティング (ドメイン内 / ドメイン間、Any-Source Multicast (ASM)、Source-Specific Multicast (SSM)、Protocol Independent Multicast – Sparse Mode (PIM-SM)、PIMv2、Bi-Dir PIM、Multicast Source Discovery Protocol (MSDP)、ブートストラップ ルータ (BSR)を含む)
- ハイ アベイラビリティ ルーティング機能 (BGP 向け NSF/NSR/グレースフル リスタート、BGP 向け GFD、マルチキャスト最適化を含む)

SPCORE

MPLS 技術および MPLS-TE サービスの概念と実装に関する知識が問われます。

また、基本的な Quality of Service と、Quality of Service with Multi Protocol Label Switching 技術の基本を理解しているかどうかについても出題されます。

- サービス プロバイダー IP NGN 環境における QoS、MPLS/LDP、MPLS トラフィック エンジニアリング
- 転送テクノロジー (ATM (非同期転送モード)、IP/MPLS への SONET (同期光ネットワーク) および SDH (同期デジタル階層)、ギガビット イーサネット、DWDM (高密度波長分割多重)、IPoDWDM、ROADM (再構成可能型光アド/ドロップ マルチプレクサ)を含む)

SPEDGE

サービス プロバイダー IP NGN 環境における VPN、MPLS レイヤ 3 VPN、レイヤ 2 VPN、キャリア イーサネットに関する知識が問われます。

- 仮想プライベート ネットワーキング (Layer 2 Tunneling Protocol (L2TPv3)、GRE (総称ルーティング カプセル化)、IPsec (インターネット プロトコル セキュリティ)、Secure Sockets Layer VPN (SSLVPN)、ダイナミック マルチポイント VPN (DMVPN)、Group Encrypted Transport VPN (GET VPN)を含む)
- キャリア イーサネット (ユーザが使用する顧客宅内機器 (U-PE)、ネットワーク プロバイダー エッジ (N-PE)、イーサネット ライン (E-line/E-LAN/E-Tree)、802.1QinQ (QinQ)、プロバイダー バックボーンブリッジング (PBB)、Virtual Private Line Service (VPLS)、Virtual Private Wire Service (VPWS)、階層型 VPLS (H-VPLS)を含む)

※本頁に記載されている情報は、出題内容の一部です。

出題内容に関する詳細は、cisco.com/jp/go/certification にてご確認ください。

CCNP SP

Cisco
Certified
Networking
Professional
Service Provider

情報

シスコ技術者認定 SNS

シスコは、シスコラーニングネットワークジャパン・Facebook・Twitter を通じて、認定・試験情報や推奨する学習方法・学習教材を提供し、エンジニアのスキルアップを支援します。

シスコラーニングネットワークジャパン:

www.cisco.com/go/learningnetwork/jp

facebook

www.facebook.com/Cisco.Learning.Japan

Twitter

twitter.com/#!/CiscoCertJapan

勉強方法

シスコ認定ラーニングパートナー

シスコが開発する認定トレーニングを提供可能な教育会社です。

www.cisco.com/jp/go/clp/

シスコプレス

シスコが唯一認定しているセルフスタディ用書籍です。

learningnetwork.cisco.com/docs/DOC-7409

シスコネットワークングアカデミー

学校における授業での開講を対象にシスコが開発する教育プログラムです。

www.cisco.com/web/JP/event/training/academy/index.html

試験会場

シスコ技術者認定の筆記試験は、シスコのオフィシャルテストセンターである Pearson VUE (ピアソンビュー) で受験できます。詳しくは Pearson VUE へお問い合わせください。

www.vue.com/japan/index.html

電話: 0120-355-173 または 0120-355-583

お問い合わせ

オンラインサポート: ciscocert.force.com/japan

マーケティング: certification-japan@cisco.com

©2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1208R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

お問い合わせ先